

育てたいのは 自分で守る!

自分で守る!

子どものやる気

子どもを「一人にさせない」努力にも限界があります。「一人になったとき」に備え、子どもが自分で身を守るために知識と行動力をつけるをさせましょう。

危険な場所や誘い手口の例などを教え、防犯の「知識や判断力」を身につけてさせましょう。

不審者に狙われやすくて危険な場所を教えましょう。

- 人の出入りの少ない駐車場や公衆トイレ
- 人気のない神社・寺院の境内、空き家・廃墟

※自宅周辺であっても、非常階段や駐車場など人目の少ない場所で遊ばないよう言い聞かせましょう。

防犯標語

「いかの お す し」を活用！

- 知らない人について 行かない
- 知らない人の車に 乗らない
- 「助けて！」と 大きな声を出す
- 大人のいる方へ すぐ逃げる
- どんな人が何をしたのかを 大人に 知らせる

※「知らない人」とは「家族や保護者が許可した人物」以外の人。



不審者や犯罪者は言葉巧みに誘ってきます。どんな理由を言われても断るよう教えましょう。

大がいなくなったんだ。
一緒に探してくれない?
(助けを求める)

うちに面白いゲームがあるんだけど来ない?
(気を引く)

君、かわいいね。
モデルにならない?
(誘惑する)

お母さんが事故に
あった。病院に行こう
(緊急を装う)



知識だけでは身を守れません。
叫ぶ、逃げる、などの
「行動できる力」を育てましょう。

「助けを呼びたいのに声が出ない」「逃げたいのに動けない」では困ります。

- 実際に大声を出したり、ためらわずに逃げることなどを繰り返し練習させ、また、そのための気力と「体力」をつけさせましょう。
- 防犯ブザーを実際に使う練習をさせましょう。



※身の危険を感じて逃げるときは、ランドセルやカバンなど持ち物を投げ捨てても良いことを教えましょう。

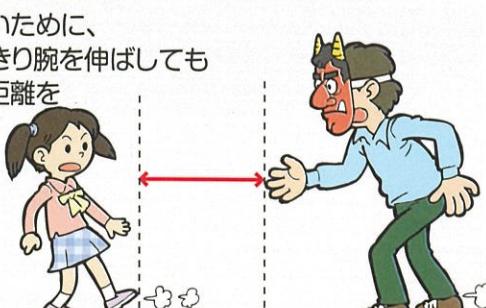
いざというとき逃げ込める場所を確認し、実際の場面を想定した訓練をさせましょう。

子どもと一緒に、子ども110番の家、交番、郵便局、コンビニなどに行って、いざというときに逃げ込むよう、実際に教えましょう。

狙われるのとは小さな子どもとは限りません。
小学校高学年や中高生の被害も多く危険です。
また、女子だけではなく男子児童・生徒も注意する
必要があることを教えましょう。

不意に襲われないために、日頃から、人と一定の距離をとる習慣をつけさせましょう。

急に腕を捕まれないために、相手と自分が思いきり腕を伸ばしても届かないくらいの距離を常に保つよう体で覚えさせ、実践させましょう。



子どもの連れ去り防止対策

大切なのは

子どもを守る!

大人の本気



犯罪者が狙うのは、「子どもが一人」になるとき。
保護者の自覚と対応が必要です。

「子どもが一人になる場面」を
できるかぎり
なくしましょう。

- ・登下校や通園、通塾などは送り迎えをする。
- ・遊びに出かけるときは、友だちと合流する場所まで送り迎えをする。

※送り迎えが難しい場合は、
学校や塾に相談したり、
保護者同士連携を取り、
協力し合いましょう。



一緒に出かけているときも、
「子どもが一人」になってしまわないようにしましょう。

- ・スーパーなどで子どもが親から離れたときも、「同じフロアの目と鼻の先にいるから大丈夫」などと油断せず、目を離さない。
- ・スーパーや公園などのトイレに一人で行かせない。

「防犯メール」(警察など)を活用しましょう。
居住地域で目撃された不審者の情報や声かけの事案などがいち早く届くので、すぐに警戒することが出来ます。

子どもを守るために
「地域の力」も必要です。
愛情を持って見守りましょう。

見守り方は、厳しく、やさしく。

- ・人目のない場所で遊ぶ子どもには「危ないよ」、遅くまで遊ぶ子どもには「早く帰りなさい」などと注意をしましょう。
- ・見慣れない人と一緒にいる子がいたら声をかけてみましょう。

公園や通学路などに、怪しい車や
不審者がいないか目配りを。



シニアのみなさん、
「見守る目」になってください。

庭の手入れや散歩、買い物などで「外に出る時間」を子どもの登下校等の時間帯に合わせることで、自然な見守りの目を増やせます。

みんなでつくろう 安心の街

松阪地区生活安全協会
地域安全・暴力追放部会
少年健全育成部会
松阪警察署 ☎0598-53-0110(代)